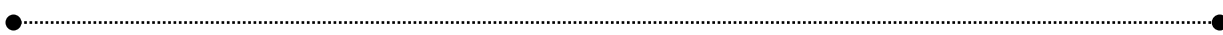


平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	太陽と大地の聖地・別所温泉を新ビジョンとした新たな温泉地活性化プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	別所温泉活性化プロジェクト 0268-38-2020
事業区分	ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,471,034円 (うち支援金: 1,024,000円)



事業内容

○各種会議・勉強会

定期的にプロジェクト会議を行い、事業の報告や協議を重ねた。また、別所温泉の各団体や長野大学と連携し幅広い活動を行った。内容として活性化プロジェクトの事業との連携（商品や体験）を軸とした。

- ・ 定例会議 6/17, 7/29, 9/13, 10/18, 11/8, 12/13, 1/25：別所地域住民・観光事業者・行政・交通などが参加して開催。
- ・ 9/23：まこも勉強会・試食会：長野大学主催のまこもの勉強会に試食含め協力定期的に意見交換も開催
- ・ 12/6 聖地の恵第二弾発表
温泉センターにて開催。商品発表や試食会を開催した。50名のメディア、行政関係、地元住民、店舗が参加。



【プロジェクト会議の様子】



【長野大学での意見交換の様子】



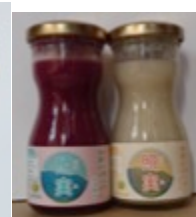
【商品第二弾発表会の様子】

○聖地の恵オリジナルブランド

4種類を新たに追加。ラベルやタグを作成しブランドとして統一的なものとした。内容として塩田産100%、デトックスチャージのコンテンツに乗っ取り効果の高いものにし、別所温泉の旅館や土産屋中心に販売している。別所温泉にはここでしか買えないというお土産がほとんどなく、地元の特産品を活用し農業従事者や製造者・長野大学などと広く連携することで新たな地域活性化の活路ができてくると言える。



【発表会のメディア掲載
(12/7 信濃毎日新聞)】



【左から】エゴマ油・まこも茶・スムージー・ジャム】

(別記様式第12号)(第3の8関係)

○体験コンテンツ

ヨガ、太極拳、ノルディックウォークを開催。
30～40代の女性をターゲットに
太陽と大地の聖地での体験をテーマに実施。
今までお寺や温泉のみの印象であったが
こうした健康プログラムを開催する事で
違った客層や参加者達からの良い声も多かった。

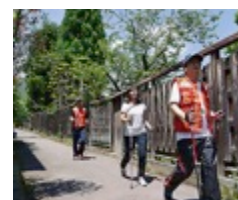
○情報発信媒体



【別所温泉活性化プロジェクトHP】
撮影した絶景写真(トップ)やロゴを使



【変更したロゴ】
日・英で太陽と大地の聖地を記載



【左から 太極拳・ノルディックウォーク体験の様子】



【ヨガの様子】



【聖地の恵 ミニパンフレット】



【撮影した写真】
太陽と大地を表現する象徴写真を撮影。

事業効果

新しい太陽と大地の聖地とデトックス&チャージというビジョンとコンセプトの元、商品造成や滞在コンテンツの実施ができた。
また会議には多くの団体を巻き込むことでそこからの協力関係が築けた。
特に聖地の恵ブランドについては今までなかった地元で生産し地元でブランド化した統一商品ができたことと、コンセプトにあった、健康志向に直結する質のものが造成できたことで話題性もあり販売にもつなげられた。
同時期には大河ドラマの放送もあり、宿泊客は劇的に増加し、このタイミングで事業全体を幅広い周知が図れた。

【目標・ねらい】

- ①地域に関係する多くの団体・住民と連携
- ②太陽と大地の聖地をコンセプトにした体験や商品造成と、その販売拡大と地域浸透
- ③新しいターゲットに向けた訴求効果を上げるための媒体やコンテンツを整備する
- ④地域の観光発展と全体の意識向上

※自己評価 【B】

【理由】

全体的に必要なとされる事業は滞りなく完了したが、多くの団体関わっている関係やプロジェクト自体がまだ発足なこともあり、一部変更になってしまった。また体験については集客が目標には達しておらず継続的な実施と集客するためのツール整備や発信が必要。ブランド商品については、より販路を広げ売れる商品とし地域に浸透させるための工夫が必要である。今までのお寺と温泉のみで古い温泉地といったイメージを一新するために、集客や地域連携を継続して行っていきたい。